

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス りんくる学園通り 1単位		
○保護者評価実施期間	令和7年 3月 3日 ～ 令和7年 3月 21日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16 (回答者数)	11
○従業者評価実施期間	令和7年 3月 3日 ～ 令和7年 3月 21日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 4月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動やダンスを通してコミュニケーション力の向上がはかれる。	集団指導では難しい事も、小集団だから手厚くサポートできるよう配慮し、誰でも楽しく通えるように意識して取り組んでいる。	高学年や低学年が一緒に楽しめるような活動内容を考え、支援に取り入れていきたい。
2	パソコンやSSTなどのカリキュラムによる社会性の向上がはかれる。	視覚優位の子や、聴覚優位の子に合わせて、イラストを用いたり、小学生にもわかるようにかみ砕いて説明をしたりするよう心がけている。	小学生が多い事業所とはなるが、少しずつ社会人としてのスキルを養うための必要性を伝えていけるよう取り組んでいる
3	お出かけで興味や関心を養う。	地域のイベントや、工場見学、美術館等に足を運び、様々な事柄に興味や関心を持ってもらうよう取り組んでいる。	工場見学などに行った際には、何を学べたか子ども達に話を聞き、子どもが意見を言う場の提供や、より物事に関心を持てるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	特定のカリキュラム利用の希望者が偏ってしまう。	取り入れている様々なカリキュラムの魅力を子ども達にもわかってもらえるよう、どのようにしていくかが課題。	カリキュラムの名前だけではイメージがつかない場面も多いと感じるので、イラストや実際に体験授業のような物を行い、イメージが付きやすいようにしていきたい。
2	特定の地域のみの利用受け入れとなっている。	送迎時間の兼ね合いから、同じ市内でも受け入れができていない状況がある。	送迎時間の調整や、保護者様からご協力頂いて、送迎範囲外も受け入れ可能にできないか工夫していきたい。
3	来客対応時に駐車場が足りなくなる。	駐車台数が少ないため、来客対応時に駐車場が足りなくなるケースがある。	外部の駐車場を複数台契約し、モニタリング時などにスムーズに駐車可能なスペースを確保していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 りんくる学園通り 1単位

公表日 令和 7年 5月 7日

利用児童数 16

回収数 11

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	9	2			・人数を把握していません。	・人員配置は満たしております。保護者様への周知を強化していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	3			・階段はあるがエレベーターの設置はない。	・賃貸物件により大きな工事が難しいところです。現在対象となる児童の利用はありません。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11					
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11					
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11					
保護者 への 説明等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	5		1	・りんくるの他事業所との子達とは交流があるが障がいのない子との交流はわからない。 ・わからない。その時に利用していない。	・前年度にもご意見があり、今年度は児童館の利用を取り入れるなど交流の機会を設けていましたが、児童によっては利用日が重ならないケースもあったので意識して取り入れていきたいと思います。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	1			・ご意見はありませんでした。	・事業所主催の研修等は開催しておりますが、保護者様が参加できる研修等があった際にはご案内しています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	11					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	3		1	・ご意見はありませんでした。	・5月、11月と保護者会を開催していますが、それ以降の契約児童や、「保護者同士の連携」といった所では今後考えていきたいと思います。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	2	1	・苦情があったのか特に情報公開がない。 ・【どちらともいえない】に対してご意見はありませんでした。	・児童発達支援管理責任者を中心に苦情に対して即時対応するよう努めています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10			1	・子ども達とは日々の会話を大切にし、保護者様とはノートを活用するなどして、より一層丁寧な関わりを意識していきたいと思います。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	2			・ご意見はありませんでした。 ・マニュアルを作成し契約時に保護者様へ説明を行っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	2			・ご意見はありませんでした。 ・今年後は6月と12月に避難訓練（地震・火災）を行っています。訓練を実施した際の保護者様への周知を心がけていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11				
	29	事業所の支援に満足していますか。	10	1			・ご意見はありませんでした。 ・満足していただけるよう、今後も専門性、知識を身に付け、職員一同より良い環境作りを目指していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		りんくる学園通り 1単位				
公表日 令和 7年 5月 7日						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		活動によって部屋を使い分けている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	8			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	エレベーターはなくバリアフリー化はされていないが、階段にてすりは設置されている。	賃貸物件により大きな工事が難しい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		静養室（スヌーズレン）を設けている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8		必要に応じて行っていく。	必要な際には検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		研修案内があるときには周知されている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		活動ごとにチームを編成している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		ミーティングの中で、子供の様子を振り返った事を記入しみんなで共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			対象となる児童がいない。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		送迎等で、学校の職員とコミュニケーションを図り、情報を共有出来るようにしている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8			対象となる児童がまだいない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8		研修がある場合には周知し、希望者には受けてもらっている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	3	今年度は児童館の利用も活動に取り入れていた。	児童館の利用はあるが、交流ができていなかったなので今後の活動計画に取り入れていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8			機会があれば参加していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	8			
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		保護者様からの要望にはその都度傾聴、改善を行うようにしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		ブログにて日々の活動の様子を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8		年に一回発表会を開催している。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		マニュアルを作成し周知している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		報告書を作成するなどして職員間で共有し、今後の対策を話し合っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8			